

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システムガイドライン2016 ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊予銀行名古屋支店建替えプロジェクト	階数	地上10F
建設地	愛知県名古屋市中区錦二丁目8-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、緑化地域、駐車場整備地区	平均居住人員	324 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,250 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年3月8日
敷地面積	719 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	596 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月8日
延床面積	6,332 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外のオンサイト手法 73%  
④上記+オフサイト手法 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 シンプルで良好な室内環境の確保する。		
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 化学汚染物質の発生しない仕上げ材を採用し、室内環境の向上を図る	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 階高H=4.0mを確保し、壁長さ比率0.23により空間の形状・自由度を考慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 見通しの良い環境とし、防犯性に配慮した計画。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 設備システムの効率化により、建築物の環境負荷を低減。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 リサイクル資材を活用する	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 光害に配慮し、敷地外への影響の低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される


### 重点項目スコア・結果シート

伊予銀行名古屋支店建替えプロジェクト

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>4.0</b>
LR1	エネルギー	4.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>1.6</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.092158447	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009215845
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.046079224	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>3.5</b>
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

### 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 4.0
	
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 1.6
	
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 3.5
	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。